

令和2年度

田原本町教育委員会活動点検評価報告書

(令和元年度実施事業分)

令和3年2月

田原本町教育委員会

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条第1項の規定に基づき、令和元年度に田原本町教育委員会が実施した教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価の結果について報告します。

令和3年2月 日

田原本町教育委員会

目 次

○はじめに	1
○教育委員会の運営・活動状況	2
○点検・評価項目	
・ 幼児教育の推進	3
・ 小・中学校教育の推進	5
・ 特別支援教育の推進	7
・ 学習体制の充実	9
・ 生涯学習環境の充実	11
・ 図書館事業の充実	13
・ 文化活動の促進	15
・ スポーツに親しむ環境の整備	17
・ スポーツ・レクリエーション活動の普及・啓発	19
・ 文化財保護事業	21
・ 唐古・鍵遺跡史跡公園運営事業	23
・ 唐古・鍵考古学ミュージアム運営事業	25

I はじめに

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部改正により、平成20年4月から、教育委員会は毎年、その権限に属する事務の管理及び執行状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表しなければならないこととされました。

この報告書は、同法の規定に基づき、田原本町教育委員会が行った点検・評価の結果をまとめたものです。

II 点検・評価の基本方針

1 点検・評価の目的

法改正を受け、町教育委員会は、その権限に属する事務の管理及び執行状況を自ら点検・評価し、その結果を議会に報告するとともに、住民に公表することといたしました。

この点検・評価は、効果的な教育行政の推進に資するとともに、住民に対する説明責任を果たしていくことを目的としています。

2 点検・評価の対象

点検・評価の対象は、「田原本町第4次総合計画」基本目標1「子育ての願いをかなえるまちづくり」及び基本目標2「潤いや喜びを与える学びとスポーツのまちづくり」の教育関連施策を点検・評価の対象としました。

点検・評価の対象年度は、令和元年度です。

- (1) 田原本町教育委員会の運営・活動状況
- (2) 「田原本町第4次総合計画」に基づく施策体系ごとの点検・評価（11施策）

3 点検・評価の方法

「田原本町第4次総合計画」に基づく施策体系ごとに、進捗状況の参考となる指標及び実施事務事業の実績を掲載しています。

上記の指標及び実施事務事業の実績を基に、教育委員会で点検・評価を行っています。評価にあたっては、客観性を確保するために、外部の学識経験を有する方から施策や事業についてご意見をいただいております。

【点検評価委員】

（敬称

略 五十音順）

役 職	氏 名	備 考
委 員	小林 祥孝	教職経験者
委 員	東口 豪	行政経験者

田原本町教育委員会の運営・活動状況

1 教育委員

(令和2年 3月31日現在)

職名	氏名	職業	就任年月日	任期満了年月日
教育長	植島 幹雄	公務員	H29. 4. 1	R2. 3. 31
委員	宮本 安男	無職	H24. 12. 23	R2. 12. 22
委員	吉川 眞司	会社員	H28. 3. 18	R3. 12. 23
委員	岡本 春江	無職	R1. 9. 22	R5. 9. 21
委員	榊井 歌世	教員	R1. 12. 22	R5. 12. 21

2 教育委員会議の開催状況

- ・教育委員会定例会……10回
- ・教育委員会臨時会……2回

3 教育委員会議の審議状況

- ・報告事項……21件
- ・審議事項……27件

4 教育委員の活動状況

- ・定期学校訪問実施(年1回)……幼稚園5園・小学校5校・中学校2校
- ・幼稚園・小学校・中学校行事への参加……入園式・入学式・運動会・卒園式・卒業式及び各種研究会等
- ・各種研修会への参加……近畿市町村教育委員研修大会(和歌山県)・人権教育各種研究大会・青少年健全育成各種研究大会等
- ・各種行事への参加……成人式等

施策評価シート(対象:R元年度実施施策)

施策名	幼児教育の推進			総合計画位置づけ	--
部名	教育委員会	主担当課名	教育総務課	担当課名	-

1. 施策概要

めざす 成果目的	幼児の心身の健全な発育を促すため、幼稚園・保育園・家庭が連携し幼児教育の充実を図る。また、遊びを通した総合的な学びを小学校での教科等の学びに円滑に接続するため、幼児教育と小学校教育の連携を推進する。
施策概要	基礎を培う乳幼児期における教育の推進。安心・安全な教育環境の整備。保護者ニーズに対応するための預かり保育の実施等幼児教育の支援。

2. 実施結果

指標名 説明	単 位	R1年度	R2年度	前期基本計画目標 R3年度	R4年度	R5年度
		(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)
		(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)
① 公立・私立幼稚園就園率 対象年齢者に対する公立・私立幼稚園の園児在籍率	%	55	58	60	62	64
		48	—	—	—	—
② 保育園・小学校との連携回数 合同運動会や音楽鑑賞会等 交流・連携回数	回	67	70	73	73	73
		62	—	—	—	—
③ 預かり保育利用園児の1日 平均利用園児数	人	20	22	23	23	24
		11	—	—	—	—

施策を構成する主な事務事業の評価結果(評価対象年度R1年度)

事務事業名	担当課名	R1年度事業費 (決算額)(千円)	必要性の点検	目標達成状況 の点検	実施内容方法の 点検
幼稚園運営事業(一部)	教育総務課	276,943	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
幼稚園施設管理整備事業	教育総務課	92,560	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
幼稚園教育振興事業	教育総務課	2,548	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
計		372,051			

施策評価シート(対象:R元年度実施施策)

施策名	小・中学校教育の推進	総合計画位置づけ	--
部名	教育委員会	主担当課名	教育総務課
		担当課名	—

1. 施策概要

めざす成果目的	児童・生徒に確かな学力、豊かな人間性及びたくましい心身の育成を図るとともに、教育環境の維持・向上を図り、誰もが安全で安心できる学校を実現する。
施策概要	学ぶ力と意欲を伸ばし、豊かな人間性を育む学校教育の推進。安心・安全な教育環境の整備。関係機関との連携。

2. 実施結果

指標名 説明	単位	R1年度	R2年度	前期基本計画目標 R3年度	R4年度	R5年度
		(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)
		(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)
① 「学校は楽しい」と回答した児童の割合 各小学校実施の「学校評価アンケート」	%	94	96	98	99	100
		89	—	—	—	—
② 「学校は楽しい」と回答した生徒の割合 各中学校実施の「学校評価アンケート」	%	80	84	86	88	90
		67	—	—	—	—
③ 学力向上に資するICT環境の整備 ICT機器(タブレット)を整備した小学校	校	2	7	7	7	7
		2	—	—	—	—

施策を構成する主な事務事業の評価結果(評価対象年度R1年度)

事務事業名	担当課名	R1年度事業費 (決算額)(千円)	必要性の点検	目標達成状況 の点検	実施内容方法の 点検
小学校運営事業	教育総務課	97,669	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
小学校施設管理整備事業	教育総務課	44,997	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
学校給食事業	教育総務課	134,386	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
小学校教育振興事業(一部)	教育総務課	9,576	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
小学校サポート体制支援事業(一部)	教育総務課	3,847	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
中学校運営事業	教育総務課	44,907	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
中学校施設管理整備事業	教育総務課	640,894	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
中学校教育振興事業(一部)	教育総務課	8,547	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
中学校サポート体制支援事業(一部)	教育総務課	5,474	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
事務局運営事業(一部)【ALT派遣事業】	教育総務課	8,478	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
計		998,775			

3. 施策の分析

達成度 (目標の達成状況はどうか)	<input type="radio"/> A 最終目標(R3)達成に向け、計画を大きく上回る成果があがっている <input checked="" type="radio"/> B 最終目標(R3)達成に向け、順調に成果があがっている <input type="radio"/> C このままでは、最終目標(R3)達成が難しい 児童・生徒の確かな学力の育成に向け、特に基礎的・基本的な知識・技能の着実な習得を図る取組を推進している。今後も協働的な学習とともに個別最適化した学習を充実させ、不登校の減少にもつなげていきたい。令和元年9月から、念願の中学校給食がスタートし、子どもたちが必要な栄養バランスを整えるとともに、保護者の負担軽減にも役立っている。
必要性 (ニーズは今後どう変化するか)	<input checked="" type="radio"/> A ニーズ及び解決すべき課題は、増加する方向にある <input type="radio"/> B ニーズ及び解決すべき課題は、現状と変わらない <input type="radio"/> C ニーズ及び解決すべき課題は、減少する方向にある 学力向上やいじめ・不登校の抑止、学校施設の老朽化対策、食育に関わる地産地消や食物アレルギーへの対策等について、今後もさらに推進する必要がある。
施策を進める上での問題点・課題	(説明) 子どもの学習意欲の向上や生活習慣の未確立、規範意識や体力の低下等に対応するための学校・家庭・地域の連携が課題である。学校施設の老朽化とともに、児童生徒の減少に伴う適正な教育環境の維持についても課題である。

4. 次年度の展開方針〔部としての判断〕

施策の方向性	〔複数選択可〕 <input type="checkbox"/> 重点化して推進 <input checked="" type="checkbox"/> 内容を見直して推進 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (現状の水準を維持する)				
(説明)	これからの社会においては、主体的に考え、情報を総合化して判断・表現し、行動する力を備えた自立した社会人の育成がますます重要となることを踏まえれば、基礎的・基本的な知識・技能を徹底して身に付けさせるとともに、自ら学び自ら考える力などの「確かな学力」を育成し、「生きる力」をはぐくむことができるよう教育内容や教育環境の整備に努める。				
施策を構成する主要な事務事業の方向性	事務事業名	R1年度 決算(千円)	R2年度 予算(千円)	優先性	R2に向けた 経営資源(事業費)の 方向性
	小学校運営事業	97,669	118,058	3	現状のまま
	小学校施設管理整備事業	44,997	54,671	4	現状のまま
	学校給食事業	134,386	289,850	3	現状のまま
	小学校教育振興事業(一部)	9,576	20,216	3	現状のまま
	小学校サポート体制支援事業(一部)	3,847	7,518	3	現状のまま
	中学校運営事業	44,907	51,248	3	現状のまま
	中学校施設管理整備事業	640,894	76,955	4	現状のまま
	中学校教育振興事業(一部)	8,547	14,019	3	現状のまま
	中学校サポート体制支援事業(一部)	5,474	6,558	3	現状のまま
	事務局運営事業(一部)【ALT派遣事業】	8,478	9,864	3	現状のまま
	【新規】	—	—		—
	計	998,775	648,957		
内部評価のコメント	地域の避難所となる学校施設は耐震補強工事の実施により、安心・安全な環境となっている。不登校児童生徒数については、目標を下回っており、全教職員での情報の共有・関係機関との効果的な連携などを強化して、指導の徹底を図る必要がある。また、学校給食では食材の産地を公表するとともに地場産の野菜を給食に用いるなど地産地消を進め、美味しく安心・安全な提供に努めている。今後、児童生徒1人1台のタブレットの整備及び校内高速無線LANの整備により、ICT教育の更なる推進を目指したいと考えている。				
外部評価委員のコメント	地区別将来人口推計なども踏まえながら、学校再配置も視野に入れ、学校施設の老朽化対策について取り組んでいただきたい。また、教育環境が多様化するなか、児童生徒の健全育成については、学校と家庭・地域及び関係機関等との連携やスクールカウンセラー・支援員の効果的な活用を期待する。学校給食では、食材の安全に一層配慮しながら、地場産の食材を積極的に取り入れ、栄養のバランスのとれた美味しい給食を提供するなど、児童生徒の食に関する関心と理解を高めながら、学校から家庭への情報発信も進めていただきたい。				

施策評価シート(対象:R元年度実施施策)

施策名	特別支援教育の推進	総合計画位置づけ	--
部名	教育委員会	主担当課名	教育総務課
		担当課名	—

1. 施策概要

めざす成果目的	学習障害(LD)、注意欠陥・多動性障害(ADHD)及び広汎性発達障害(PDD)等の発達障害を含めた障害のある幼児・児童・生徒の支援体制を整備し、インクルーシブ教育の推進を図る。
施策概要	幼児・児童・生徒の個々の発達に応じた適切な教育の推進。安心・安全な教育環境の整備。就学の支援。関係機関との連携。

2. 実施結果

指標名 説明	単位	R1年度	R2年度	前期基本計画目標 R3年度	R4年度	R5年度
		(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)
		(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)
① 通級指導教室活用者数 通級指導教室を活用している人数	人	25	26	27	28	29
		17	—	—	—	—
② 特別支援教育支援員の学校配置数 特別支援教育支援員の幼稚園・小学校・中学校への配置数	人	22 (幼15・小5・中2)	23 (幼31・小5・中2)	23 (幼16・小5・中2)	23 (幼16・小5・中2)	23 (幼16・小5・中2)
		30 (幼23・小5・中2)	—	—	—	—
③			—	—	—	—

施策を構成する主な事務事業の評価結果(評価対象年度R1年度)

事務事業名	担当課名	R1年度事業費 (決算額)(千円)	必要性の点検	目標達成状況 の点検	実施内容方法の 点検
幼稚園運営事業(一部)	教育総務課	25,524	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
小学校サポート体制支援事業(一部)	教育総務課	15,909	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
中学校サポート体制支援事業(一部)	教育総務課	4,896	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
計		46,329			

施策評価シート(対象: R元年度実施施策)

施策名	学習体制の充実			総合計画位置づけ	3-1
部名	教育委員会	主担当課名	生涯教育課	担当課名	生涯教育課

1. 施策概要

めざす成果目的	学びたい人が学びたい時に学べるよう、様々な学習の機会や情報を提供し、人と人との繋がりを広げるとともに、自己を向上させることで地域・町づくりに繋げる。
施策概要	各種教室・講演会・地区別懇談会等を開催して、様々な学習機会を提供する。また、子どもを対象とする教室を開催する。

2. 実施結果

指標名 説明	単位	R1年度	R2年度	前期基本計画目標R3 年度	R4年度	R5年度
		(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)
		(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)
① 公民館学習・放課後子ども教室等の年間開催数	回	300	300	300	300	300
		(説明) 公民館学習・放課後子ども教室等の年間開催数	418	—	—	—
② 子ども文化教室の年間開催数	回	59	59	59	59	59
		(説明) 子ども文化教室の年間開催数	27	—	—	—
③ 子ども文化教室の年間参加者数	人	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100
		(説明) 子ども文化教室の年間参加者数	422	—	—	—

施策を構成する主な事務事業の評価結果(評価対象年度R1年度)

事務事業名	担当課名	R1年度事業費 (決算額)(千円)	必要性の点検	目標達成状況 の点検	実施内容方法 の点検
公民館学習事業	生涯教育課	4,968	B:普通	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
青少年健全育成推進事業	生涯教育課	12,210	B:普通	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
人権教育指導事業	生涯教育課	3,266	B:普通	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
計		20,444			

施策評価シート(対象: R元年度実施施策)

施策名	生涯学習環境の充実	総合計画位置づけ	3-1
部名	教育委員会	主担当課名	生涯教育課
		担当課名	生涯教育課

1. 施策概要

めざす成果目的	安全で快適に利用できる施設環境の充実を図ることにより、住民の学習活動が活性化する。
施策概要	田原本青垣生涯学習センターは、生涯学習施設として町民の方々に活用されており、安全・快適に利用できるように、環境整備を行う。また、学校の体育施設を学校教育に支障のない範囲において、地域住民に開放する。

2. 実施結果

指標名 説明	単位	R1年度	R2年度	前期基本計画目標R3 年度	R4年度	R5年度
		(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)
		(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)
① 年間の公民館の利用件数 (説明) 年間の公民館の利用件数	回	2,400	2,400	2,400	2,400	2,400
		3,866	—	—	—	—
② 小・中学校を住民に開放している年間件数 (説明) 小・中学校を住民に開放している年間件数	件	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000
		2,752	—	—	—	—
③ (説明)						
			—	—	—	—

施策を構成する主な事務事業の評価結果(評価対象年度R1年度)

事務事業名	担当課名	R1年度事業費 (決算額)(千円)	必要性の点検	目標達成状況 の点検	実施内容方法 の点検
青垣生涯学習センター管理事業	生涯教育課	90,853	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
計		90,853			

施策評価シート(対象: R元年度実施施策)

施策名	図書館事業の充実	総合計画位置づけ	3-1-3
部名	教育委員会	主担当課名	図書館
		担当課名	—

1. 施策概要

めざす成果目的	市民が読書の楽しみを知り、趣味や生きがいを持って豊かな生活が送れるように資料を提供し、自発的な学習の支援を行うとともに、地域の情報拠点としての図書館サービスの充実を図る。
施策概要	郷土資料、視聴覚資料を含む多種多様な分野の資料を収集し、蔵書の充実を図る。学校等と連携を図り、子どもの読書活動を推進する。各種イベントや広報活動を行い、利用の促進を図る。多様なレファレンスに対応するため、資料に精通した職員の育成に努める。

2. 実施結果

指標名 説明	単位	R1年度	R2年度	前期基本計画目標R3 年度	R4年度	R5年度
		(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)
		(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)
① 蔵書冊数	冊	203,000	204,000	205,000	205,000	205,000
		年度末の蔵書冊数	210,225	—	—	—
② 児童書の貸出冊数	冊	155,200	155,800	156,400	157,000	157,000
		年間の個人・団体・相互貸借された児童書の貸出冊数	150,781	—	—	—
③ 町内実質登録者数	人	6,100	6,100	6,100	6,100	6,100
		1年間で実際に貸出された町内の利用者数	5,100	—	—	—

施策を構成する主な事務事業の評価結果(評価対象年度R1年度)

事務事業名	担当課名	R1年度事業費 (決算額)(千円)	必要性の点検	目標達成状況 の点検	実施内容方法 の点検
図書館収集提供事業	図書館	19,899,169	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
子ども読書活動推進事業	図書館	139,337	B:普通	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
図書館利用促進事業	図書館	566,356	B:普通	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
図書館運営管理事業	図書館	6,406,244	B:普通	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
計		27,011,106			

施策評価シート(対象: R元年度実施施策)

施策名	文化活動の促進	総合計画位置づけ	3-1
部名	教育委員会	主担当課名	生涯教育課
		担当課名	生涯教育課

1. 施策概要

めざす成果目的	弥生の里ホールの利用促進を図り、住民が多様な文化・芸術に触れられる機会を提供する。
施策概要	弥生の里ホールでは、質の高いイベントを開催する。また、文化団体や社会教育関係団体の文化に関わる活動を支援し、日頃の文化活動の発表の場として文化祭を開催する。

2. 実施結果

指標名 説明	単位	R1年度	R2年度	前期基本計画目標R3 年度	R4年度	R5年度
		(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)
		(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)
① 弥生の里ホール年間利用 件数	件	240	240	240	240	240
		(説明) 弥生の里ホール年間利用件 数	361	—	—	—
②						
		(説明)		—	—	—
③						
		(説明)		—	—	—

施策を構成する主な事務事業の評価結果(評価対象年度R1年度)

事務事業名	担当課名	R1年度事業費 (決算額)(千円)	必要性の点検	目標達成状況 の点検	実施内容方法 の点検
文化活動推進事業	生涯教育課	13,099	B:普通	B:概ね目標の成 果が得られた	B:見直す余地がある が時間が必要
弥生の里ホール運営事業	生涯教育課	2,449	B:普通	B:概ね目標の成 果が得られた	B:見直す余地がある が時間が必要
計		15,548			

施策評価シート(対象: R元年度実施施策)

施策名	スポーツに親しむ環境の整備	総合計画位置づけ	3-2
部名	教育委員会	主担当課名	生涯教育課
		担当課名	生涯教育課

1. 施策概要

めざす 成果目的	体育施設の維持管理に努め、住民が身近な地域で安全にスポーツが行えるようにする。
施策概要	住民のスポーツ活動の拠点として、各体育館・健民運動場及びテニスコート等の環境の整備を行う。

2. 実施結果

指標名 説明	単位	R1年度	R2年度	前期基本計画目標R3 年度	R4年度	R5年度
		(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)
		(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)
① 中央体育館、やすらぎ体育館の年間利用件数	件	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500
		(説明) 中央体育館、やすらぎ体育館の年間利用件数	2,954	—	—	—
② テニスコートの年間利用件数	件	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600
		(説明) テニスコートの年間利用件数	1,912	—	—	—
③ 健民運動場の年間利用件数	件	250	250	250	250	250
		(説明) 健民運動場の年間利用件数	377	—	—	—

施策を構成する主な事務事業の評価結果(評価対象年度R1年度)

事務事業名	担当課名	R1年度事業費 (決算額)(千円)	必要性の点検	目標達成状況 の点検	実施内容方法 の点検
体育施設管理事業	生涯教育課	19,061	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
計		19,061			

施策評価シート(対象: R元年度実施施策)

施策名	スポーツ・レクリエーション活動の普及・啓発	総合計画位置づけ	3-2
部名	教育委員会	主担当課名	生涯教育課
		担当課名	生涯教育課

1. 施策概要

めざす成果目的	子どもから高齢者まで幅広い年齢層の住民が、多種多様なスポーツに親しめるよう、関係機関と連携し、気軽にスポーツ・レクリエーション活動に参加できるようにする。
施策概要	卓球やバドミントン等のスポーツ教室の開催や春・秋の総合競技大会、町民マラソン・駅伝大会を開催する。また、親子バレーボール大会や歩こう会を開催し、体育協会、スポーツ少年団への助成を行う。

2. 実施結果

指標名 説明	単位	R1年度	R2年度	前期基本計画目標R3 年度	R4年度	R5年度
		(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)
		(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)
① テニス・ジュニアサッカー等の年間教室開催数 (説明) テニス・ジュニアサッカー等の年間教室開催数	回	250	250	250	250	250
		257	—	—	—	—
② 健康スポーツの集いの年間開催回数 (説明) 健康スポーツの集いの年間開催回数	回	2	2	2	2	2
		2	—	—	—	—
③ 健康スポーツの集いの参加者数 (説明) 健康スポーツの集いの参加者数	人	60	60	60	60	60
		64	—	—	—	—

施策を構成する主な事務事業の評価結果(評価対象年度R1年度)

事務事業名	担当課名	R1年度事業費 (決算額)(千円)	必要性の点検	目標達成状況 の点検	実施内容方法 の点検
社会体育振興事業	生涯教育課	4,979	B:普通	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
スポーツ教室開催事業	生涯教育課	6,706	B:普通	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
春・秋総合競技大会開催事業	生涯教育課	2,013	B:普通	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
マラソン・駅伝大会開催事業	生涯教育課	1,100	B:普通	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
計		14,798			

施策評価シート(対象: R元年度実施施策)

施策名	文化財保護事業	総合計画位置づけ	3-3-1
部名	教育委員会	主担当課名	文化財保存課
		担当課名	—

1. 施策概要

めざす成果目的	文化財保護の精神と認識を深め、国・県・町指定の有形文化財及び史跡を後世まで貴重な財産として残す。
施策概要	唐古・鍵遺跡と黒田大塚古墳内の公有地の管理及び史跡の現状変更等、進達業務。その他国・県・町指定文化財所有者に防犯、防災の指導。

2. 実施結果

指標名 説明	単位	R1年度	R2年度	前期基本計画目標R3 年度	R4年度	R5年度
		(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)
		(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)
① 町文化財指定件数(累計)	件	9	9	10	11	12
		9	—	—	—	—
②			—	—	—	—
			—	—	—	—
③			—	—	—	—
			—	—	—	—

施策を構成する主な事務事業の評価結果(評価対象年度R1年度)

事務事業名	担当課名	R1年度事業費 (決算額)(千円)	必要性の点検	目標達成状況 の点検	実施内容方法 の点検
文化財保護事業	文化財保存課	4,671	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	C:見直す余地がない
計		4,671			

施策評価シート(対象:R元年度実施施策)

施策名	唐古・鍵遺跡史跡公園運営事業	総合計画位置づけ	3-3-1
部名	教育委員会	主担当課名	文化財保存課
		担当課名	—

1. 施策概要

めざす成果目的	弥生の追体験ができる公園として、またより多くの来園者に親しまれる憩いの場、コミュニティの場として賑わいのある活用事業を推進する。
施策概要	賑わい創出の場としてイベントを開催する。また、小・中学校の学習の場として活用する。

2. 実施結果

指標名	説明	単位	R1年度	R2年度	前期基本計画目標R3年度	R4年度	R5年度
			(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)
			(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)
①	唐古・鍵遺跡史跡公園年間来園者数	人	40,000	40,000	45,000	45,000	45,000
	唐古・鍵遺跡史跡公園年間来園者数		116,134	—	—	—	—
②				—	—	—	—
				—	—	—	—
③				—	—	—	—
				—	—	—	—

施策を構成する主な事務事業の評価結果(評価対象年度R1年度)

事務事業名	担当課名	R1年度事業費(決算額)(千円)	必要性の点検	目標達成状況の点検	実施内容方法の点検
唐古・鍵遺跡史跡公園運営事業	文化財保存課	42,742	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
計		42,742			

施策評価シート(対象: R元年度実施施策)

施策名	唐古・鍵考古学ミュージアム運営事業	総合計画位置づけ	3-3-2
部名	教育委員会	主担当課名	文化財保存課
		担当課名	—

1. 施策概要

めざす成果目的	ミュージアムの来館者が快適に観覧でき、満足していただけるようにする。また、文化財に対する理解・愛着を深め、学習意欲・愛護精神を育成する。
施策概要	ミュージアムの適切な管理や受付業務を行う。イベントや企画展、講座等を開催し、情報発信を行う。

2. 実施結果

指標名 説明	単位	R1年度	R2年度	前期基本計画目標R3 年度	R4年度	R5年度
		(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)
		(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)
① 唐古・鍵考古学ミュージアム年間来館者数	人	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000
		13,278	—	—	—	—
② 唐古・鍵遺跡に対する理解が深まったと答えた小学生の割合	%	74	75	75	75	75
		—	—	—	—	—
③ 唐古・鍵考古学ミュージアムのウェブサイト年間アクセス数	件	17,000	17,000	17,000	17,000	17,000
		23,522	—	—	—	—

施策を構成する主な事務事業の評価結果(評価対象年度R1年度)

事務事業名	担当課名	R1年度事業費 (決算額)(千円)	必要性の点検	目標達成状況 の点検	実施内容方法 の点検
唐古・鍵考古学ミュージアム運営事業	文化財保存課	3,707	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
計		3,707			

